2024_0315「早春の自然観察"シールラリー"(写真)」日々の理科 3508 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

附属小学校4年生の理科の学習の補助で、大学構内の春の自然観察に参加しました。今回は時間もあまりなかったので、「スタンプラリー」改め「シールラリー」方式にしました。みんなで大学構内を巡りながら、12種類の動植物を見つけて、観察できたらカードにシールを貼っていくという内容です。

写真の左上がシール台紙(ケント紙に印刷)、下がその裏面の地図、右上が丸シール(手作り)です。子どもたちは、もともとシールが大好きです。シールがあれば貼りたがり、貼ってあるシールは剥したがります。もともと人類には「シールが好き」という遺伝子が備わっているのでしょう。郵便局で買ってきた「シール型切手」を小さな子どもが、全部冷蔵庫に貼ってしまった・・・という話もうなずけます。

案の定、子どもたちは夢中で植物を探して、探し当てた植物のシールを正しい説明の欄に貼っていました。シジュウカラに出会えるか心配だったので「声を聴ければ OK」としたのですが、幸い枝から飛び立つオスのシジュウカラを、みんなで見ることができました。早春の楽しい活動でした。





